

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【辻小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 国語科における「日本語や言語文化についての知識」について令和5年度さいたま市学習状況調査の結果がどの学年においても低かった。 【指導上の課題】 日本語の基礎的な知識を得る時間や回数の確保が十分でない。	⇒ ・低学年・中学年・高学年、それぞれの実態に合わせた、言葉に関する知識や技能を高める活動(低:視写、中:言葉の泉、高:短作文等)を定期的実施し、学校全体での底上げを図る。 【月に1度実施。朝のチャレンジタイム内で。】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 国語科における自分の思いを書いたり話したりして自ら積極的に表現できる児童が少ない。 【指導上の課題】 児童が自信をもって自らの考えを表現できたと思える学習経験の積み重ねが少ない。	⇒ ・学習の見通しをもち、ゴールを明確化させ、自信をもって自らの考えを伝えることができる授業をクラウドも活用しながら、全校をあげて展開していく。 【授業の実施:各学年毎単元】【R6さいたま市学力調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいきました」についての質問項目において肯定的な回答が8割以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)